

1. ビタミンC測定用 血清、血漿分離方法

血清、血漿は0.2 mL必要です。下記のいずれかの方法で分離してください。

A. 遠心分離機を使用される場合

[血清]

採血管は、血清用すべてが使用できます。凝固促進フィルムや分離剤入りでも大丈夫です。

採血後、通常の方法で分離してください。

※溶血検体は、正しい測定値が出ない可能性があります。

[血漿]

採血管は、ヘパリンナトリウムまたはヘパリンリチウム入りに限ります。

採血後、通常の方法で分離してください。

※EDTA入り採血管で採血された血漿は、測定できません。

※溶血検体は、正しい測定値が出ない可能性があります。

B. 遠心分離機を使用されない場合

[血漿のみ]

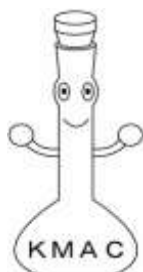
採血管は、ヘパリンナトリウムまたはヘパリンリチウム入りに限ります。

採血後、冷蔵（4～8℃）に2時間ほど静置し、上清の血漿部分を分離してください。

※EDTA入り採血管で採血された血漿は、測定できません。

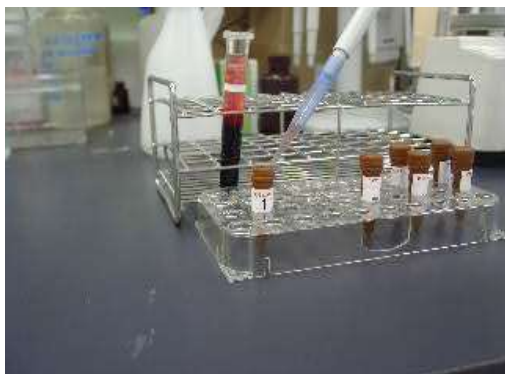
※溶血検体は、正しい測定値が出ない可能性があります。

この後は、以下の「検体調製および送付手順書」に従い検体を調製しお送りください。



この手順書は予告なく改訂する場合があります。

2. ビタミンC測定用 検体調製および送付手順書



安定化剤チューブにはメタリン酸溶液0.2mLが入っています。
安定化剤が直接手に触れないよう取扱いにご注意ください。
測定値に影響しますので、液をこぼさないようご注意ください。



- ①血清または血漿を0.2mLご用意ください。
☆遠心分離機を使用せずに血漿を分離することも可能です。
詳しくは裏面の「血清、血漿分離方法」をお読みください。
- ②安定化剤チューブのラベルに、油性インクで検体番号をご記入ください。または、ラベルに印字されている番号を「分析検体明細書」の検体番号の欄にご記入ください。
- ③血清または血漿0.2mLを、速やかに安定化剤チューブに添加してください。これで等量混合になります。
- ④チューブの蓋をしっかり締めて、ボルテックスミキサー等で十分に混合してください。混合後に遠心分離の必要はありません。
- ⑤混合後、速やかに凍結してください。
※血清、血漿分離から凍結までの時間をできるだけ短くしていただくと、ビタミンCの低下が小さくなります。
※凍結後もビタミンCは経時的に低下します。
凍結後2週間以内に当センター宛にお送りください。



- ⑥輸送中の漏れ防止のために、ビニール袋に入れてください。
- ⑦ホームページから「分析試験依頼書」と「分析検体明細書」をダウンロードまたは印刷し、必要事項をご記入ください。
- ⑧検体と「分析試験依頼書」と「分析検体明細書」を同封し、必ず冷凍便で当センター宛にお送りください。

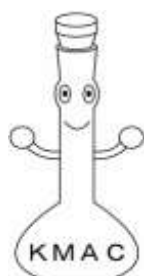


宛先

〒411-0932
静岡県駿東郡長泉町南一色600-1
協和メデックス株式会社 富士工場内
KMアッセイセンター 草田
TEL 055-988-8222

同封した宅配伝票もお使いいただけます。

宅配伝票の品名には、「ビタミンC」とご記入ください。



この手順書は予告なく改訂する場合があります。